

(20) 草 心 苑



所在地	〒960-8105 福島市仲間町3-21 TEL 573-5061		
交通機関	福島交通バス：市内循環「新浜公園」徒歩5分		
設置年月日	昭和62年10月1日	建設年月日	昭和62年4月25日
面積と構造	(建物)266.68㎡ (構造)木造モルタル		
開館時間	午前9時30分～午後8時30分		
休館日	年末年始（12月29日～1月3日）		
施設概要	1階 一号室・二号室・茶室 2階 三～五号室		

<施設の概要>

草心苑は、茶道、華道、謡曲など日本古来の伝統的文化の普及振興と同好者の語らいの場として、故山田英二氏が建築した施設です。

氏の亡きあと、意志を継いだ富美夫人から、市民の文化振興と向上を願い、市に寄贈された施設で、気軽に研修・研さんの場として利用できます。

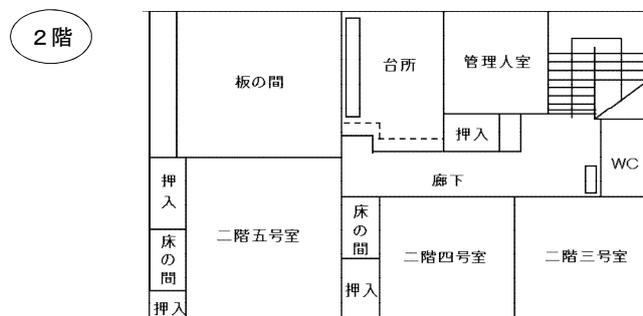
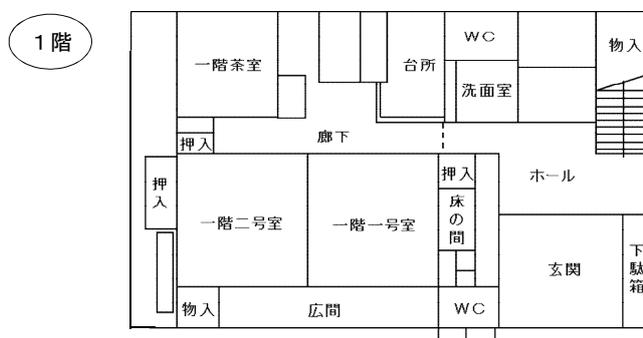
<使用料>

室名	使用料(1回)
1階 一号室	600 円
二号室	600 円
茶室	600 円
2階 三号室	600 円
四号室	600 円
五号室	1,200 円

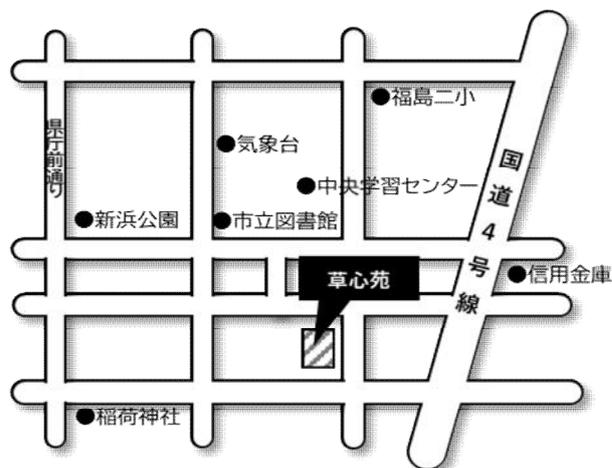
<使用時間の単位(3時間)>

午 前 の 部	9 : 3 0 ~ 1 2 : 3 0
午 後 の 部	1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0
夜 間 の 部	1 7 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0

平面図



案内図



(21) 古関裕而記念館



所在地	〒960-8117 福島市入江町1-1 TEL 531-3012		
交通機関	福島交通バス：伊達・保原・桑折行「日赤前」より徒歩3分、 古関裕而メロディーバス「古関裕而記念館前・音楽堂」より徒歩1分		
設置年月日	昭和63年10月1日	建設年月	昭和63年6月30日
面積と構造	(建物)656.60㎡ (構造)鉄筋コンクリート2階建		
開館時間	午前9時～午後5時	入館料	一般 300円(団体240円) 小中学生100円(団体 80円)
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日(年3回)		
開館	昭和63年11月12日 (令和3年3月13日リニューアルオープン)		

〈施設の概要〉

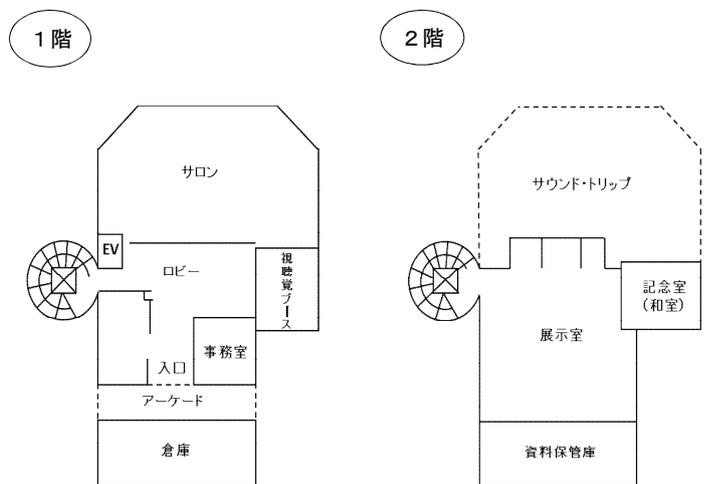
古関裕而記念館は、福島市出身の偉大な作曲家で、名誉市民第一号である古関裕而氏を称え、後世にその業績と古関メロディーを広く継承し、本市音楽文化の振興に資するため、市制施行80周年記念事業として昭和62(1987)年にオープンしました。

1階には、サロン視聴覚ブース、物販コーナーなどがあり、館内に流れる古関メロディーや大きなガラス窓から見える並木が、くつろぎの気分を演出しています。

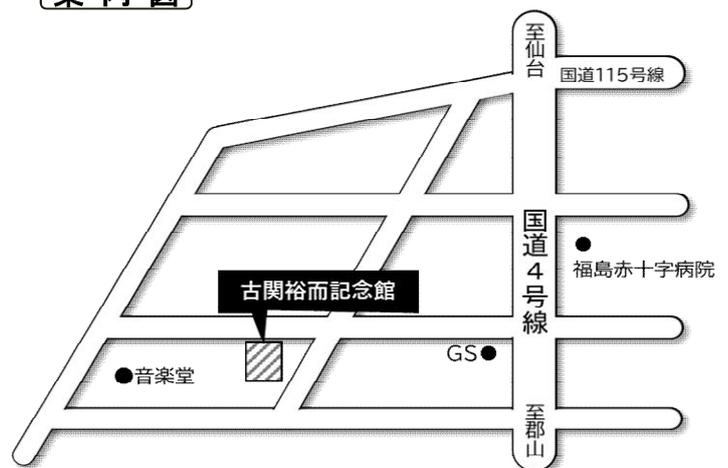
また、2階の展示室では、約600点の写真パネルや直筆の楽譜・色紙等、数々の貴重な歴史的資料が展示されています。

令和3年3月に展示内容や構成を一新し、最新の立体音響による目玉展示を導入するなど、古関氏の魅力やメロディーをより堪能していただける施設としてリニューアルオープンしました。

平面図



案内図



(22) ふくしん夢の音楽堂
(福島市音楽堂)



所在地	〒960-8117 福島市入江町1-1 TEL 531-6221		
交通機関	福島交通バス：伊達・保原・桑折行「日赤前」より徒歩3分、 古関裕而メロディーバス「古関裕而記念館前・音楽堂」より徒歩1分		
設置年月日	昭和59年4月1日	建設年月日	昭和59年3月20日
面積と構造	(建物)6,023,48㎡ (構造)鉄骨鉄筋コンクリート3階建		
開館時間	午前9時～午後9時		
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)		
施設概要	○大ホール 固定席1,002席、車椅子5席 ○小ホール 200席 ○大練習室 1室、中練習室 2室、小練習室 4室 ○楽屋 2室 ○主催事務室 1室 ○資料室 1室		
開館	昭和59年7月4日		

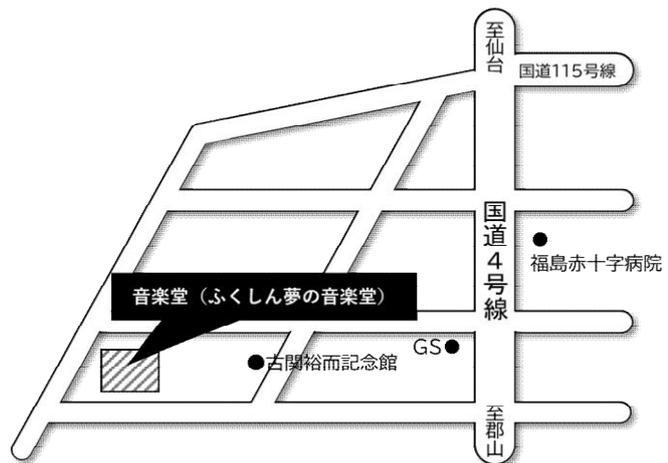
〈施設の概要〉

音楽堂は、市民文化芸術の殿堂として、大ホールや小ホール、楽屋、練習室などを備え、鑑賞やコンサートはもちろん、音楽団体や学校などの発表会などにも積極的活用を図り、市民音楽文化の向上と情操のかん養に資することを目的として、昭和59(1984)年に開館しました。

大ホールは、約1,000名収容の客席とデンマーク・マルクーセン&サンズ社のパイプオルガンを備え、音響効果最優先のコンサートホールとして設計されています。

また、200名が収容可能な小ホールと7つの練習室を備え、音楽のみでなく演劇や発表会など小規模な催し事など、多目的な利用が可能な施設となっています。

案内図



〈令和4年度 事業計画〉

日程	事業名
7月31日(日)	Sirba Octet / TANTZ!
8月6日(土) 7日(日)	夏休み親子で体験教室 「見て・聴いて・さわって作ろう♪パイプオルガン」
9月18日(日)	古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」コンサート 9月公演
9月19日(月・祝)	ふれあいオパールコンサート2022
10月16日(日)	古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」コンサート 10月公演
11月3日(木・祝)	新イタリア合奏団 with 村治佳織
11月19日(土)	心ふれあい音楽鑑賞教室2022 ～オータムコンサート～
12月18日(日)	古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」パイプオルガン・クリスマスコンサート
1月20日(金)	横浜シンフォニエッタ
1月29日(日)	日高志野 ピアノ・リサイタル
年6回	パイプオルガン講習会 R4：5/15(日)、7/17(日)、9/25(日)、11/20(日) R5：1/15(日)、3/26(日)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の時期、内容等に変更がある場合があります。

(23) 福島市民家園



所在地	〒960-2155 福島市上名倉字大石前地内 「あづま総合運動公園」内 TEL 593-5249
交通機関	福島交通バス、佐原行「室石（むろいし）」付近下車 ＝自由乗降区間徒歩15分＝
設置年月日	昭和57年8月1日
設置内容	復原民家等8棟、芝居小屋、板倉2棟、展示館、 休憩棟、橋銭小屋、ばったら小屋、火の見櫓等
開館時間	午前9時～午後4時30分
入場料	無料
休園日	毎週火曜日(火が祝日の場合は翌平日) 12月29日～1月3日

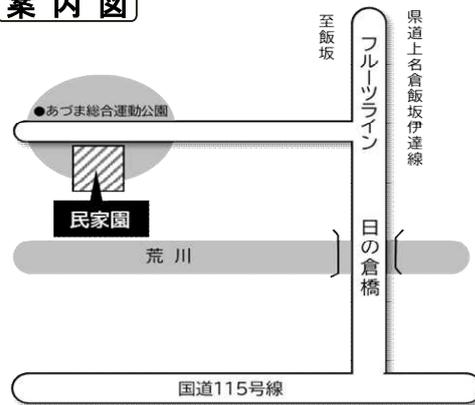
〈施設の概要〉

福島市民家園は、市街地の西方約10kmにある「あづま総合運動公園」の一角に、昭和57年8月開園しました。

園内には、江戸・明治時代の農家や宿店、芝居小屋、料亭など10棟が移築復原されており、板倉や橋銭小屋、便所・風呂場、井戸なども復原または複製されています。当時の人々のくらしをうかがい知ることができます。

また、四季折々には、時節にあった各種年中行事を再現し、来園者に〈先祖のくらし〉を身近に感じてもらえるような行事を開催するとともに、園内にある明治時代の芝居小屋「旧広瀬座」では、現在でも大衆娯楽として催しが開催され、多くの来園者でにぎわっています。

案内図



【園内の復原民家等】

○旧奈良輪家住宅（上層農家）

県指定重要文化財
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積165.9㎡
旧所在地＝山田字城裏口35

○旧菅野家住宅（一般農家）

県指定重要文化財
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積84.94㎡
旧所在地＝松川町字熊ノ田4

○旧阿部家住宅（一般農家）

県指定重要文化財
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積68.91㎡
旧所在地＝大笹生字安養寺44

○旧小野家住宅（養蚕農家）

市指定有形文化財
半切妻造(あづま)、かやぶき、中二階建、平面積337.7㎡
旧所在地＝伊達郡伊達町大字伏黒字南屋敷17

○旧笥家宿店

市指定有形文化財
寄棟造、かやぶき、中二階建、平面積109.64㎡
旧所在地＝上鳥渡字観音寺14

○旧渡辺家住宅（上層農家）

市指定有形文化財
寄棟造、かやぶき、平屋建、平面積175.8㎡
旧所在地＝上名倉字吉内13

○元客自軒（料亭）

市指定有形文化財
北棟：寄棟造、杉こばぶき、二階建、平面積14.94㎡
東棟：切妻造、杉こばぶき、平屋建、平面積75.07㎡
旧所在地＝北町3-33

○旧広瀬座（芝居小屋）

国指定重要文化財
入母屋造、杉こばぶき、一部二階建、平面積785.52㎡
旧所在地＝伊達郡梁川町字北本町7-1

○旧馬場家住宅（上層農家）

市指定有形文化財
寄棟造、かやぶき、平屋建(一部中二階)、平面積200.8㎡
旧所在地＝南会津郡南郷村宮床字居平528

○旧佐久間家板倉（穀倉）

市指定有形民俗文化財
栗こばぶき、平屋建、平面積24.19㎡
旧所在地＝佐倉下字加藤7

〈年間行事〉

月	年中行事	実演・体験行事
5	・端午の節句 ・田おこし ・田植え ・むげの朔日	
6		・子どもの遊び
7	・たなばた	・体験行事「昔のくらし」
8	・盆の行事	・期間展示「養蚕」
9	・おつきみ	・体験行事「わら細工」
10	・稲刈り、脱穀 ・収穫祭 ・子ども秋まつり	
11		・体験行事「わら細工」
12	・正月迎え	
1	・小正月	
2	・節分	
3	・桃の節句	

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の時期、内容等に
変更がある場合があります。

(24) 郷土史料室



所在地	〒960-8228 福島市松山町39番地の1 TEL 563-7858		
交通機関	「伊達方面」「月の輪台方面」行き 「岩谷下」徒歩3分		
設置年月日	昭和54年7月23日	面積	1,065.27㎡
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日・日曜日 ・祝日 ・年末年始（12月29日～1月3日） 		

※ふれあい歴史館は、令和4年4月に市史編纂室と統合し、郷土史料室となりました。

〈施設の概要〉

郷土史料室は、福島藩主板倉家を中心とした江戸時代の資料や、個人から寄贈された民俗資料・郵政資料を中心に収蔵しています。

また、年に3回程度の出張展示や、市内の歴史や文化を学ぶ「ふれあい講座」、フィールドワークなどを開催しています。

【収蔵資料】

- 宮内富貴夫氏寄贈資料
燈火資料、時計資料、貨幣資料、風俗資料、交通・通信資料、音楽資料、教育資料、政治資料、産業資料等
- 金子一郎氏寄贈資料
郵便資料
(郵便の歴史、郵便切手、趣味の郵便)
- 板倉神社寄託資料
市指定有形文化財 板倉神社所蔵資料ならびに什物102点
- 市に寄贈・寄託された歴史・民俗・考古資料

案内図



【ふれあい講座の案内】

開催月	講座名
5月	特別講座「信達地方と蚕～人々の暮らしを支えた「絹の文化」～」
6月	講座「ふくしまの古代道 東山道」
7月	講座「阿武隈川流域の古墳時代」
8月	工作講座「寄せ木風細工で小物入れを作ろう」
10月	フィールドワーク「隈畔を歩こう」
11月	フィールドワーク「吉井田地区歴史散歩」
12月	講座「ふくしまの旧家の歴史と建物のこれから」
1月	講座「日本刀とは」
2月	講座「和算の歴史と尾形貞蔵の算額」

【出張展示の案内】

開催月	展示名
5月	「福島と蚕」
7月	「写真展 昭和の福島」
9月	「絵馬展」
11月	「写真展 ふくしま建物今昔」

【庁舎展示の案内】

開催月	展示内容
4月～3月	福島の2万年の歴史を分かりやすくまとめた「ふくしま歴史絵巻」から毎月パネルを展示しています。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の時期、内容等に変更がある場合があります。

(25) 写真美術館(花の写真館)



所在地	〒960-8002 福島市森合町11番36号 TEL 563-4990
交通機関	福島交通バス、市内循環線「福高前」徒歩1分 JR福島駅東口より徒歩20分
設置年月日	平成15年4月1日
面積と構造	(建物)654㎡ (構造)石造洋風瓦葺寄棟造
開館時間	午前9時～午後4時30分
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
入館料	無料(但し企画展等観覧料は主催者が定めた料金)
施設概要	(1階)展示室1～4、休憩室、男女・多目的トイレ (2階)事務室、企画展示室、多目的室、旧所長室
その他	令和3年5月29日再開館

〈施設の概要〉

日本を代表する写真家・故秋山庄太郎氏は、花見山の美しさに強く惹かれ、毎年のように撮影に訪れて、「福島には桃源郷がある」という名言とともに花見山の美しい自然を全国に紹介し続けました。

市は秋山氏の功績を称え、平成13年に「ふるさと栄誉賞」を授与し、平成15年に秋山氏の「想い」を象徴する施設として、写真美術館(花の写真館)を開館しました。

その後、写真美術館は東日本大震災で被災し、休館を余儀なくされましたが、耐震補強や施設の再整備を実施し、令和3年5月にリニューアルオープンしました。

館内には、文化芸術団体の作品展などが実施可能な「展示室」や、多様な目的で利用可能な「多目的室」などを備え、一般利用者向けの貸し出しも行っています。

今後は、貴重な文化財【※】として建物や収蔵作品の適切な管理に努めるとともに、「文化芸術の発信拠点」として、幅広い利活用が期待されています。

【基本使用料】

室名	使用料
展示室 1	一日 4,400円
展示室 2	一日 3,400円
展示室 3	一日 2,900円
展示室 4	一日 2,100円
多目的室	一時間 300円

※その他特別使用料等加算あり。

案内図



【※】文化財としての概要

市有形文化財「旧日本電気計器検定所福島試験所社屋」(平成14年6月17日指定)

写真美術館は、大正11年に当時の通信省が東北・北海道・樺太(サハリン)地域の管轄を目的とした「電気試験所福島試験所」として開設した建造物です。

県内における大正期建立の建造物としては希少であり、窓やドアに装飾を施した明治建築から機能優先の近代建築への移行期をうかがい知ることができる建物であることなどから、保存意義が大変高い建造物です。

石造りの建造物で柱型を意識するように上部がデザイン化されており、玄関廻りは外壁面から張り出すことで正面性を強調させ、屋根上部まで伸びたパラペット、レリーフ、玄関屋根廻りの意匠などが建物を印象的なものとしています。

(26) 「じょいもん」
宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設



〈施設の概要〉

「じょいもん」は、市内岡島に整備された宮畑遺跡史跡公園内にある体験学習施設です。

宮畑遺跡は、縄文時代中期・後期・晩期の約二千年間にわたる縄文時代の人々の生活を伝える、南東北を代表する遺跡で、平成15年8月27日に国史跡の指定を受けました。

遺跡を整備した「宮畑遺跡史跡公園（愛称：じょーもびあ宮畑）」【※】は平成27年にオープンし、園内には、縄文時代の掘立柱（ほったてばしら）建物や竪穴住居などの復元建物、遺構の露出展示などが整備されています。

また、「じょいもん」には、焼けた竪穴住居の床下展示や縄文人の暮らしぶりを展示するほか、弓矢体験などの縄文体験ができる縄文工房も備え、飯坂町東湯野の上岡遺跡から出土された、県内唯一の重要文化財である「しゃがむ土偶」も常設展示されています。

【※】宮畑遺跡史跡公園(じょーもびあ宮畑)の概要

〔北側〕

- ・休憩棟 1棟
- ・炊事棟 1棟
- ・遊具 12基
- ・四阿 2棟
- ・駐車場 60台

〔南側〕

- ・露出展示棟 1棟
- ・掘立柱建物 1棟
- ・竪穴住居 1棟
- ・敷石住居 1基
- ・幼児のお墓 4箇所
- ・四阿 3棟
- ・駐車場 80台

所在地	〒960-8201 福島市岡島字宮田78番地 TEL 573-0015 FAX 573-0016
交通機関	福島交通バス：「月の輪経由保原」「月の輪団地」 「東部支所前 経由月の輪団地」「月の輪経由梁川」 停留所「向鎌田」より徒歩5分
建築年月日	平成27年6月30日
開館日	平成27年8月8日
開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（火曜日が祝日の場合、翌日以降の祝日に当たらない日） 年末年始（12月29日～1月3日） ※福島市公立学校の春・夏・冬期休業中は毎日開館 （年末年始を除く）
施設概要	1階：エントランスホール、 床下剥ぎ取り展示、映像展示室、展示室、 縄文工房、ホール、休憩コーナー、図書コーナー等 2階：休憩ラウンジ、展望デッキ
展示室 観覧料	【一般】個人200円、団体 140円（20名以上） 【高校生以下】個人100円、団体 70円（20名以上） ※未就学児無料
使用料	ホール（3時間）：1,000円 縄文工房（3時間）：1,000円

案内図



〈令和4年度 主要事業計画〉

実施日	内容
8月27日(土)～8月28日(日)	縄文キャンプ ※令和4年度は雨天中止
9月23日(金)	じょーもびあ宮畑秋まつり ※令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止
11月13日(日)	宮畑ウォーク
令和5年3月5日(日)	縄文リレーマラソン

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の時期、内容等に変更がある場合があります。